令和２年度事業報告（令和２年４月～令和３年３月末）

１　法人運営事業

（１）組織の強化

－財源の確保－

〈会員募集〉

・賛助会員に対し会員継続、会費納入を依頼

・広報紙ゆうあいに募集記事を掲載、新規会員の増加を図る

〈その他〉　組織構成会員に協力依頼

※参考　登録賛助会員数（令和３年３月末）

法人賛助会員３０団体・個人賛助会員２３９名

（２）各種会議の開催

１）理事会

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．６．５ （書面決議）	①令和元年度事業報告（案）について ②令和元年度決算報告（案）及び監査報告について ③評議員候補者の推薦（案）について ④評議員選任・解任委員会の開催（案）について ⑤参与並びに相談役の選任（案）について ⑥定時評議員会の開催（案）について
３．３．１７	①令和２年度補正予算（案）について ②令和３年度事業計画（案）について ③令和３年度予算（案）について ④規程等の一部改正（案）について ⑤理事選任候補者の推薦（案）について ⑥評議員選任候補者の推薦（案）について ⑦評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について ⑧評議員選任・解任委員会の開催（案）について ⑨評議員会の開催（案）について ⑩役員賠償責任保険の契約について　　⑪その他

２）評議員会

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．６．２３	①令和元年度事業報告（案）について ②令和元年度決算報告（案）及び監査報告について
３．３．２９	①令和２年度補正予算（案）について ②令和３年度事業計画（案）について ③令和３年度予算（案）について ④理事の選任（案）について

３）評議員選任・解任委員会

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．６．　９ ３．３．２３	評議員の選任について（書面決議）

４）善意銀行運営委員会

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．６．　５ （書面決議）	①令和２年４月～５月の預託及び払出について ②福祉ボランティア活動応援資金の払出（案）について
３．３．１７	①令和３年度預託金の払出（活用）（案）について ②令和２年６月～令和３年３月の預託者及び預託内容について

５）正副会長会・選考委員会

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．９．　２	第１部　正副会長会 ①令和２年度天王寺区社会福祉大会について ②高齢者福祉月間運動の推進について 第２部　選考委員会 ①選考委員会について（趣旨説明） ②地域福祉推進功労表彰者の選考について ③天王寺区社会福祉大会表彰者等の選考について

６）地区社会福祉協議会会長連絡会

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．７．　３	①共同募金配分金について ②天王寺区社会福祉大会について ③役員名簿の提出について ④区内金婚ご夫妻へのお祝い品の贈呈に関する周知等について ⑤賛助会費のお願いについて ⑥ＮＨＫ歳末たすけあい受配事業 「居場所づくり支援事業」募集要領について ⑦大阪ガスグループ福祉財団「令和２年度助成募集要項」の周知及び取りまとめについて ⑧外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業について ⑨リスタートセットの配付について　⑩その他
２．９．　２	①天王寺区社会福祉大会について ②金婚ご夫妻への記念品の贈呈について ③１０月からの赤い羽根共同募金活動について ④令和２年７月豪雨災害義援金について ⑤コロナ禍での地域活動について

７）地区募金会理事会（役員会）

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．７．１６	①令和元年度共同募金について ②令和元年度共同募金地区事務費並びに連合協力費について ③令和元年度共同募金決算報告並びに会計監査報告について
２．９．１１	①令和２年度赤い羽根共同募金運動について ②戸別募金の日程・資材の送付について ③街頭募金の実施について

８）社会福祉施設連絡会（天王寺区内２１施設対象）

開催年月日	主 な 議 案 及 び 議 決 事 項
２．８．　７	総会（出席者１２名　事務局４名） ①運営委員・役員の改選について ②令和元年度事業報告について ③令和２年度事業計画案について 　　施設見学・勉強会 ④その他　各施設からの情報交換　区社協から助成金の案内
２．８．　７	第１回運営委員会（出席者５名　事務局４名） ①施設見学会について ②施設職員勉強会・交流会について
２．１０．１	共同募金 街頭募金活動の協力（高津学園）
２．１０．２	共同募金 街頭募金活動の協力（四恩学園）
２．１０～ １２月	共同募金 募金箱設置の協力（子ども・子育てプラザ、老人福祉センター）
随　時	その他 ・メーリングリストを作成し、地域住民や団体からの寄付の情報、区役所・地域からの各種情報、助成金についての情報などの発信 ・施設と各種団体との連携支援

（３）広報・啓発・調査活動の推進

１）広報活動

①・区社協だより「ゆうあい」の発行（№６５、６６）

・発 行 日　2.8.30(№65)、3.1.31(№66)

・発行部数　各３０，５００部

（うち、区内配達新聞折込２７，１００部）

② ホームページ「天王寺区社会福祉協議会　ゆうあい」

新着情報の更新及びホームページ内フェイスブックを活用した、タイムリーな情報提供

２）啓発活動・啓発物品の作成

① 啓発活動

3．3．3　『地域福祉映画会』（区民センター）

・「しゃぼん玉」上映

・にこにこ元気パック（つながり通信、啓発チラシ及び物品等）配布

2．8．8　『ボッチャ審判員養成講座』（区民センター）

・にこにこ元気パック（つながり通信、啓発チラシ等）配布

2.11.14　『ゆうあいDE区民まつり』

・にこにこ元気パック（つながり通信、啓発チラシ等）配布

・オンライン区民まつり配信を視聴

・簡単クラフトコーナーの実施

・防災カレーの提供

・無料セルフ喫茶コーナーの設置

②啓発物品の作成　　LEDキーライト　　２００個作成

卓上カレンダー　１，１００冊作成

（４）地域生活支援（法人独自）事業の推進

１）認知症サポーター養成講座の開催（定例・出前講座）

認知症に関する正しい理解を広げるため、一般向けに定例講座と出前講座を開催した。（詳細は、２社会福祉事業(5)福祉教育支援事業に記載）

２）「キャラバンメイト定例会」の開催　３回開催

認知症サポーター養成講座を受講した方が、さらに、キャラバンメイト養成研修を受講し、具体的な対応方法などを市民に伝える「講師役」となり、学んだ知識や体験などを地域・職域・学校などで「認知症サポーター養成講座」を実施した。

内　容　・認知症サポーター養成講座の実施について

・キャラバンメイト活動

養成講座開催のための日程調整など

・講座の事前練習等について

・意見交換、活動報告等

・その他

３）「天王寺区ロバの会」（平成２２年４月１日発足）への支援　定例会　４回開催

認知症サポーター養成講座修了者の有志が認知症に関する学習を重ねて、天王寺区内の認知症の方やその家族が安心して生活できるようお手伝いをしていくことを目的に結成された。今年度はコロナ禍により活動が実施できなかったが、これまでのふり返りを行い、次年度に向けての方向性を検討した。

４）「いきいき広場」の実施　各地域で、毎月１～４回実施

平成２９年度より高齢者の閉じこもり等による生活の不活発を予防し、要支援・要介護状態への変化を少しでも遅らせるために、各地域とともに地域における集いの場として「いきいき広場」を実施した。

実施場所：各地域の会館

実施内容：「いきいき百歳体操」と地域が行うプログラムを実施。各地域と共催して、前半はいきいき百歳体操を行い、後半は地域のニーズに合わせたプログラムを実施している。

（５）職員の育成にかかる研修会等の実施

１）新規採用職員研修（4/7, 10）　２名
２）キャリアパス対応生涯研修（9/4）　１名
３）労務管理とハラスメント（9/8）　２名
４）社会福祉施設職員人権研修（9/15, 16）　３６名
５）新型コロナウイルス感染症の理解～（11/6）　８名
６）地域共生社会の実現について（11/10, 11, 12）　４０名
７）クレーム解決研修（11/13）　２名
８）コンプライアンス研修（12/4, 21, 23）　３８名
９）社会福祉施設職員人権ワークショップ（2/15, 3/9）　５名
10）社会福祉施設職員人権研修（2/25）　１名

（６）防災にかかる取り組み

１）防災検討会の実施
各種危機管理関係の検討会及び研修会の実施
１３回（内、１０回はアドバイザーによる講義・助言他）
災害対策本部訓練・災害ボランティアセンター設置運営訓練

２　社会福祉事業

（１）「天王寺愛あいプラン」（天王寺区地域福祉アクションプラン＝ＡＰ）の推進

１）会議等開催状況
①各班会議
高齢班　班会議　２回　8/5　（2月書面開催）
障がい班　班会議　２回　8/5　（　同上　）
子育て班　班会議　２回　6/12（　同上　）
拡大推進委員会　１回（3月書面開催）
②三班合同勉強会（中止）

２）実施事業
①障がい者スポーツ「ボッチャ」その他への協力
・2.8.8　ボッチャ審判員養成講座
各地区ボッチャ大会の予定があったが、
コロナ禍のため中止となる
②地域福祉啓発に向けた支援
・3.3.3　地域福祉映画会開催「しゃぼん玉」上映
③各地区子育て支援サークルへの支援・協力

感染拡大防止の観点から全地区中止の方向であったが、状況を見ながら区全体で10回開催。開催時に企業からの寄付物品等を応援物品として届けた。

④ジュニアクラブ関係事業への支援・協力

・運営委員会　　３回　9/24,12/3（5月書面開催）

・運営委員会事務局会議　　２回　9/10,11/27

・2.10.11　天王寺の歴史にふれよう！
　～真田幸村の謎を探る～
（50人参加　会員：33人、運営委員：7人、事務局：9人、保護者：1人）

⑤子育て愛あいフェスティバル事業への支援・協力

・運営委員会事務局会議
（5月中止・2月書面開催）

・運営委員会実行委員会（5月中止・2月書面開催）

・子育て愛あいフェスティバル（中止）

（２）在宅福祉サービス事業の実施

１）車椅子貸出事業（通院・旅行等の外出、在宅で使用等）
　車椅子貸出件数…１３５件（車椅子と一緒にレインコートを貸出…２８件）

２）福祉用具等貸出事業
　・ボッチャ用具…　　２件
　・体温計…　　５件

３）ゆうあい杖給付事業（歩行困難者で希望者へ配布）
　給付件数…　　２９件

（３）高齢者福祉事業

１）天王寺区社会福祉大会の開催（２年に１度の開催）
　2.10.6（火）天王寺区民センター　ホール
　　参加者：約８０名（受賞者・来賓・関係者等）

・区社協役員を長年にわたり務められて退任された方、各地域において福祉の推進に努められている役員並びに登録ボランティアグループに表彰状をを贈呈　　２０名・５団体

・善意銀行預託者に感謝状を贈呈　　２名

・金婚ご夫妻へお祝い記念品「夫婦扇子」を贈呈　３６組
　＊お祝い記念品の「夫婦扇子」は、和宗総本山四天王寺様からのご寄贈

２）高齢者福祉月間運動の推進

・百歳高齢者お祝い訪問　※コロナ禍のため訪問せずお祝い品を郵送
　満百歳を迎えた高齢者　１５名
　区長・区社協会長から、国・区社協からのお祝い品を贈呈
　　お祝い品　　区社協より・・・・・和風スタンド
　　（参考）　　国（厚生労働省）・・内閣総理大臣祝状・銀杯

（４）区地域福祉活動支援事業

今年度は、コロナウィルス感染拡大防止の観点から、地域福祉活動が中止されることが多かったが、コロナ禍でも地域でできることや、つながりを絶やさないためにできる支援を共に検討し取り組んだ。

１）気づけるランド～災害時の支援を考える～

地域ボランティア・住民を対象に、災害時における要配慮者への支援を考えるとともに、普段から取り組める支援について学ぶ取組み。

・2.12.26 第１回気づけるランド
～災害ボランティアセンター体験～

・3.2.27 第２回気づけるランド
～支援を活かす地域力ワークショップ～

２）地域サロンボランティア連絡会

地域の喫茶・食事サービス等で地域ボランティアとして活動されている方の情報交換の場やサロン活動に役に立つ研修等を実施

・2.10.29 ・「心と身体をリフレッシュ♪
～ステイホーム de
ながらストレッチ体操～」
・「感染予防対策について」

・3.3.23 ・「あいサポート運動」見守り相談室共催
～障害を知り、共に生きる、
地域共生をめざして～

＜番外編＞

・2.11.20 「コロナ禍での地域にとって大切なこと」
・感染対策
・コロナ禍でもつながる方法

・2.11.30 「安全なサロン活動を考えよう」
・ふれあい活動（喫茶）を行う
うえでの３つポイント
・模擬喫茶体験

３）地域こども支援ネットワークへの参画

こどもの居場所、こどもの研修会に参加し、天王寺区内での支援に向けた情報収集を実施。

＜こどもの居場所連絡会の開催＞

・3.3.25 「こどもの居場所連絡会」
・各団体による自己紹介
・各団体の活動について情報交換
・来年度実施予定のフードパントリーについて

4）高齢者や障がい者等への見守り・つながり活動
コロナ禍により、外出自粛を余儀なくされた高齢者や障がい者等へ向けた支援活動を実施した。

天王寺区社会福祉協議会（ゆうあい） Vol.01 2020.5.18

つながり通信

天王寺区社会福祉協議会　理事
下山 ひろこ
大阪市天王寺区六万寺 6-26
TEL　06-6779-5277

コロナに負けない！
いまこそ地域活動
つながり通信です

今年も新しく顔ぶれを迎えました。
ゆうあいには涼しく二人とも元気です！！
地域にお伺いした際にはよろしくお願いいたします。

プロ野球の開幕を心待ちにしています。

今年は、選手一人一人の活躍に期待しています！

各部を担当しております
理事　池田（ランチ）
　　中川（ヨガ）とやります。
各区社協担当にだけは地域の皆さまとともに歩んでいきたいと思って自分もです。
どうぞよろしくお願いします。

上田　理事（パルダ）
　　カズエ（ヨガ）とやります。
一番も多く担当させて頂き、必要性感じてもらえるよう、一生懸命頑張りますので、
よろしくお願いします。

今年度のニューフェイス

新型コロナ緊急給付金申請を行っています

○緊急小口資金
○総合支援資金

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少・失業された世帯に対する生活困窮者の支援を、全国の社会福祉協議会とともに取り組んでいます。
　現在には生活相談員による相談がございますが、生活資金で困窮の方がおられましたらご相談ください。
　相談者には申請書を お送りします。
　生活の詳細はご予約ください。
　受付時間：月曜日～金曜日
　　10:00～16:00
　、期長一同、相談者社協就社会福祉士の方達ですので、生活支援員に向けて自信を持ってやっていきたいと思っています。長い時間40年以上の全国相談員をさせていただいています。（田畑）

①つながり通信の発行
コロナ禍の中でさまざまな情報を届けるために「つながり通信」を月１回のペースで発行し、情報を発信した。

②にこにこ元気パックの配付
区社協通信や関係機関からのチラシ、企業等からの寄付物品をセットにし、毎月各地域で行われている活動（配食・百歳体操・見守り活動等）で配布。外出できない高齢者等とのつながりを絶やさないためのツールとして提供。

③百歳体操の再開支援
9 地域のうち 5 地域では 2 部に分けるなど３蜜を避ける工夫や感染予防対策を行い、再開に向けた助言や準備を実施。活動が実施できていない地域へは引き続き再開に向けて地域と共に検討を重ねた。

④地域活動リスタートセットの配付
マスク、消毒液、フェイスシールド、体温計、ポスターをセットにし、各地域活動が安心して再開及び継続できるよう配布を行った。

⑤市社協との共催による弁当・タオルの配付
外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業の一環として、ひとり暮らし高齢者等への配食及びタオルの配付を各地域と連携し、つながりが途切れないよう取り組んだ。

⑥アンケート調査の実施
食事サービスの開催に合わせてアンケート調査を実施し、高齢者のニーズキャッチや困りごとの把握を行ったところ、「お弁当の受け取りに出かけることが運動になった」「通信の情報がうれしかった」等の結果を受け、居場所づくりや情報発信の必要性があることの検証ができた。

⑦コロナ禍でも集まるための取組みを提案
食事サービス、百歳体操、ふれあい喫茶で簡単な体操（DVD を使ったリズム体操、脳トレ等で 30 分位の集まり、運動相談会）を実施し、介護予防やつながりを継続するための取組みの提案を行った。

⑧居場所づくり、閉じこもり予防の実施
感染症対策を行い「ゆうあい DE 区民まつり」「ものづくり講座」等の参加型の催しを実施し、居場所の確保や閉じこもり防止につなげた。

（５）福祉教育支援事業

１）区内各学校・地域等における福祉教育支援（認知症サポーター養成講座等）

	日　時	受　講　団　体　等	人数
1	2. 7.13	あっぷる天王寺　認知症サポーター養成講座	11
2	2. 8.22	定例　認知症サポーター養成講座	13
3	2.10.22	定例　認知症サポーター養成講座	10
4	2.11.16	区民カレッジ　認知症サポーター養成講座	30
5	2.12.16	定例　認知症サポーター養成講座	14
6	3. 2. 5	夕陽丘中学校福祉教育（当事者の講話・車いす体験・ボッチャ体験）	150

（６）善意銀行の運営

区民等からの預託（金銭・物品）を受け、申込があれば審議のうえ払出（活用）を行う。

１）金銭預託・払出

○預託件数　　１件

預　託　者	預託金額（円）
吉井　義隆	１００，０００

○払出件数　　５件（１団体、４グループ）

払出先（グループ名・団体名）	金　額（円）
天王寺区子ども会育成連合協議会	１００，０００
ボランティア４グループ（福祉ボランティア活動応援資金） ・音訳ボランティア「天音クラブ」 ・天王寺区食生活改善推進員協議会 ・Butterfly M&K ・難波宮と大阪・熊野街道連絡協議会	１０５，０００
合　　計	２０５，０００

２）物品預託・払出

○預託件数　　５件

○払出件数　　６件

預　託　者	預託物品	払　出　先
佐野　圭子	マスク　４８枚	区内社会福祉施設、サポート天王寺等
松本　昌廣	マスク　２５枚	
佐藤　直美	マスク　３７枚	
匿　　名	米５kg、ふりかけ等	
森下　雅三	米２７０kg	

（７）助成事業、団体支援等

１）福祉活動支援事業・青少年育成団体等への支援の実施
　・区青少年指導員連絡協議会との協力
２）身体障害者等福祉対策事業
　・区身体障害者団体協議会との協力
３）青少年福祉対策事業
　・区成人の日記念のつどい実行委員会　事業分担金の交付
４）精神保健福祉事業
　・精神障がい者関係団体との協力
　・ＮＰＯ法人「精神障害者支援の会ヒット」むつみ工房、ゆめくらぶ、あしすとの運営営委員会へ運営委員として出席
５）その他福祉団体事業の助成
　・区更生保護女性会（犯罪予防活動・研修活動）
　・食生活改善推進員協議会（講習会等）

（８）社会福祉法人大阪府共同募金会　天王寺地区募金会事業の事務局受託

１）理事会（役員会）　・2.7.16　天王寺区役所・講堂
　　・2.9.11　天王寺区役所・講堂

２）配分金の配分内訳（配分金合計 985,305 円）
　・地区社協への助成　590,700 円
　・高齢者食事サービス委員会への助成　180,000 円
　・区社会福祉協議会活動助成　214,605 円
　（活動内容：高齢者月間事業(百歳訪問)・ゆうあいだより発行など）
３）周知・啓発・街頭募金活動
　・ 2. 9.11　連合振興町会長会議で戸別募金活動への協力依頼
　・ 2. 9.14　小学校校長会議で、各校に共同募金周知用壁新聞の掲示依頼
　・ 2. 9.15　民生委員児童委員協議会でバッジ募金活動への協力依頼
　・ 2. 8.30　ゆうあいだより No.65　記事掲載
　・ 2.10. 1　街頭募金活動（近鉄大阪上本町駅からユフラ広場付近周辺）
　・ 2.10. 2　街頭募金活動（近鉄大阪上本町駅からユフラ広場付近周辺）
　・ 2.10.21　街頭募金活動（四天王寺境内）
　・ 2.11.14　ゆうあい DE 区民まつり

（９）日本赤十字社大阪府支部　天王寺地区事業の金銭管理の支援

１）社資の受付と送金に関する事務：社資の受付後、随時日赤大阪府支部に送金
２）地区分区交付金に関する事務
３）収支伝票の作成及び管理簿への記載
４）会計処理

（１０）あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

相談件数 １，０３５件	認知症高齢者	６４０件
	知的障がい者	１０３件
	精神障がい者	２６５件
	その他（重複障がい、高次脳機能障がい）	２７件
委託契約件数 ２４件	認知症高齢者	１５件
	知的障がい者	１件
	精神障がい者	８件
	その他（重複障がい、高次脳機能障がい）	０件

（１１）生活福祉資金貸付事務事業

自立支援策として低所得者、障がい者、高齢者世帯に対し資金の貸し付けと必要な相談支援を行う生活福祉資金制度の受付窓口業務を平成２６年４月から実施。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、収入が減少・失業した方がいる世帯を対象とする特例貸付を令和２年３月２５日から開始した。当初は令和２年６月までの予定で緊急小口資金、総合支援資金の２種類の貸付を行ったが、コロナ禍の長期化とともに受付期間を延長し、総合支援資金は初回・延長・再貸付と計３回の貸付が可能になり、緊急小口資金と合わせて一世帯あたりの貸付額は最大２００万円となった。

１）生活福祉資金

・相談件数

電話　８３件、窓口　５８件　合計１４１件

・償還等の対応件数

電話　１２件、窓口　　４件　合計　１６件

２）臨時特例つなぎ資金（相談件数）

電話　　０件、窓口　　０件　合計　　０件

３）総合支援資金（相談件数）

電話　　６件、窓口　　５件　合計　１１件

４）新型コロナウイルス感染症特例

・相談件数

緊急小口資金

電話　２，０９１件、窓口　１，４１１件　合計　３，５０２件

総合支援資金

電話　１，９７４件、窓口　１，６８１件　合計　３，６５５件

・申請受付件数

緊急小口資金　　１，６６３件

総合支援資金（初回）　１，２５７件

総合支援資金（延長）　　８５４件

総合支援資金（再貸付）　　７２６件

（１２）地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

１）地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

【見守り相談室】

地域に埋もれた要援護者を把握し、地域の見守りや適切な支援につなげるとともに、孤立死を防ぎ、地域の支え合いを強化し、安心して暮らせるまちづくりを目的とした３つの機能を持つ。

機能①『要援護者名簿にかかる同意確認と名簿の整備及び各地域団体等への情報提供』

行政と地域が把握する要援護者情報を集約し地域等への情報提供にかかる本人同意の確認(郵送または訪問)を行うとともに、地域の見守り活動支援等につなげた。また、災害時の避難支援の準備にも役立てるため、防災検討会への参画及び区危機管理課との連携強化を図った。

◆新規対象者への同意確認書類の発送

(高　　齢) 要介護３以上または要介護２以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上

(障がい1) 身体障がい者１・２級

(障がい2) 知的障がい者（療育手帳Ａ)、精神障がい者１級、視覚・聴覚障がい３・４級、音声・言語機能障がい３級、肢体不自由３級、難病

地区名	発　送　日	発　送　数				計	同意者数
		高齢者	障がい１	障がい２	難病		
天王寺	5月29日	20	4	4	0	28	15
	8月31日	19	4	0	0	23	9
大　江	5月29日	24	3	0	0	27	19
	8月31日	31	6	0	0	37	23
聖　和	5月29日	26	9	1	0	36	17
	8月31日	20	5	3	0	28	19
五　条	5月29日	24	3	0	0	27	19
	8月31日	19	5	1	0	25	14
桃　丘	5月29日	18	1	0	0	19	13
	8月31日	15	0	1	0	16	9
生　魂	5月29日	20	3	3	0	26	12
	8月31日	23	3	0	0	26	16
桃　陽	5月29日	31	3	0	0	34	17
	8月31日	30	3	1	0	34	19
味　原	5月29日	15	3	1	0	19	11
	8月31日	17	7	1	0	25	12
真田山	5月29日	52	5	4	0	61	33
	8月31日	45	5	2	0	52	17
合　　計		449	72	22	0	543	294

◆各地域団体等への要援護者地域提供リスト件数

地域団体等への情報提供にかかる本人同意を得た対象者の名簿を作成し提供した。

地区名	提　　供　　団　　体	件　数
天王寺	天王寺連合振興町会 天王寺地区社会福祉協議会 天王寺地区民生委員児童委員協議会	１３７人
大江	大江ふれあい協議会 大江地区民生委員児童委員協議会	１７６人
聖和	聖和連合振興町会 聖和地区民生委員児童委員協議会	１７９人
五条	五条地域活動協議会 五条地区民生委員児童委員協議会	１３３人
桃丘	桃丘地域活動協議会 桃丘地区民生委員児童委員協議会	８６人
生魂	生魂地域活動協議会 生魂地区民生委員児童委員協議会	１２０人
桃陽	桃陽連合振興町会 桃陽地区民生委員児童委員協議会	２１１人
味原	味原地域総括会 味原地区民生委員児童委員協議会	１３１人
真田山	真田山地域活動協議会 真田山地区民生委員児童委員協議会	２６３人

合計　１,４３６人

◆現況確認の実施

平成２８～２９年度に同意の障がい者・難病の方（４３６件）を対象に現況確認書類を発送。

令和３年度提供予定の名簿に反映させる。

機能②『孤立世帯への専門的対応』

孤立死リスクの高い要援護者（セルフネグレクト等）で地域から孤立、福祉サービスの利用を拒否される方に対して、見守りネットワーカーが訪問し、適切な支援へとつなげた。

〇相談件数：1,982 件　相談実人数：556 名（男 189 名、女 362 名、不明 5 名）

〇ケース会議等への参加：15 件

属性	要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児
	151	360	22	0	8	0
	引きこもり	生活困窮者	難　病	ごみ屋敷	子育て中の保護者	その他
	1	3	2	1	2	6

〇地域別ケア会議・自立支援協議会・就労支援事業所運営委員会・ゴミ屋敷にかかる適正化対策会議への参画によりネットワークの構築及び連携をすすめる。

機能③『認知症高齢者等行方不明時の早期発見』

徘徊の恐れのある方等を事前に登録し、登録者が徘徊等により行方不明になった時、

その方の氏名・特徴等を区内協力者にメールやファックスで情報を配信し、早期発見・保護につなげた。（※但し、休日夜間は夜間事業者対応）

○事前登録者数：63 名（男 31 名・女 32 名）　※令和３年３月末現在

○令和２年度新規登録者数：16 名（男６名・女 10 名）

○協力者数：119 件

協力者内訳	事業受託機関	介護保険関係団体	民生委員・児童委員	薬局	その他
	２３	２２	６８	６	０

※地下鉄最寄り駅：天王寺・四天王寺前夕陽ヶ丘・谷町九丁目・鶴橋・玉造
近鉄最寄り駅：大阪上本町駅

○警察からの情報提供：36 件（要援護者名簿登録者：19 件　その他：17 件）
情報提供により、状況確認し機能③登録勧奨及び適切な支援につなげた。

◆『見守り協力者連絡会・サロンボランティア連絡会　合同研修会』の開催

「あいサポート運動研修会」及び「情報交換会」を実施、協力者や関係機関の日頃の見守り活動状況について意見交換や情報共有を行い、課題把握や連携を深めるために開催した。

開催日時：令和３年３月２３日（火）14：00～16：00
場　　所：天王寺区民センター
講　　師：大阪市障がい者相談支援研修センター
　　所長　東一　久恵 氏
参加者数：４９名

２）区独自事業『独居高齢者等見守りサポーター事業』

区内の７５歳以上の独居または高齢者世帯への、ボランティによる月１回程度の見守り訪問事業の事務局を担っている。

対象者：４月２日～翌年４月１日までに７５歳になる独居または高齢者世帯で見守りを希望され、かつ介護保険サービスを利用されていない方

※令和２年度は、８０歳の方を対象に、再度、見守り希望の同意確認を実施。

（業務内容）

・郵送での希望確認及び訪問面談（未返信の場合も訪問にて意向を確認）にて、地域別リストの作成。
・各地域ボランティアリーダー活動報告書の集約、および区との連絡調整等事務処理。
・コミュニティソーシャルワーカーによる対象者への見守り訪問
・要援護者へのアウトリーチ

訪問対象者数：345人(301世帯)　※令和３年３月末現在

地域名	天王寺	大　江	聖　和	五　条	桃　丘	生　魂	桃　陽	味　原	真田山	計
人　数 (世帯数)	30 (27)	40 (35)	51 (40)	40 (34)	35 (30)	16 (15)	63 (58)	28 (24)	42 (38)	345 (301)

○地域ボランティアとの情報共有及び対象者の状況確認を行い関係機関との連携を図った。

◆『見守りボランティア連絡会』の開催
独居高齢者等見守りボランティアリーダーおよびボランティアと情報交換を行い日頃の見守り活動での課題やお互いの活動についての情報共有を深め、今後の活動に役立てるため開催した。

地域名	開 催 日	場　所	参加人数	備考
五条	８月１１日	ゆうあい	２２人	
大江	６月２５日	大江会館	１０人	ご近所助け合いネットに出席
大江	１０月２２日	大江会館	１６人	ご近所助け合いネットに出席
天王寺、大江 聖和、五条、桃丘 生魂、桃陽	３月１０日	ゆうあい	１８人	ボランティアリーダー連絡会

３）その他
◆コロナ禍での取り組み
「タオル・食品等・つながり通信の配布」
外出自粛高齢者・障がい者への支援として、品物の配付とともにコロナ禍での過ごし方等の情報提供を行い孤立化を防いだ。
・要援護者名簿対象者・民生委員が把握されている高齢者・障がい者に、民生委員の協力により配布。
・独居高齢者等見守りサポーター事業対象者に、独居高齢者見守りボランティアの協力により配布。
天王寺（70 件）、大江（45 件）、聖和（101 件）、五条（100 件 食サ、百歳体操含む）、桃丘（35 件）、生魂（15 件）、桃陽（160 件）、味原（25 件）、真田山（37 件）

◆事業周知
・区内マンション 11 か所の管理人に相談窓口の周知
・天王寺図書館にチラシを設置
・区役所の区内掲示板及び区内郵便局 12 局にポスター掲示

（１３）生活支援体制整備事業《市からの特名事業》

今後さらに増加する高齢者の生活課題と必要な支援に応えるため、住民主体の取り組みを始め、ボランティアやＮＰＯ、民間企業など、多様な事業主体による生活支援・介護予防のための取り組み及び提供体制の構築を支援している。

１）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築
・高齢者の生活ニーズや地域資源の把握
包括・ブランチ連絡会議、地域別ケア会議、事例検証会議等へ出席し、生活課題や地域資源を把握した。
・協議体会議・ワーキングの設置
6/26 に区役所・地域包括支援センターとともに協議体会議を開催し、事業の方

針について意見交換を実施した。そのほか、ワーキングとして、「協議体会議再構築に向けての準備会」「地域でのちょっとした困りごとについての打合せ」「男性のセカンドライフを考える会」を逐次実施した。

２）地域資源・サービスの開発等

・「昭和男の体操教室」の開催
コロナウイルス感染症の影響を考慮し開催中止にしていたが、6/30 から再開し、以降各月２回開催している。新たな参加者を募集するため、オンライン区民まつりにおいて、活動ＰＲ動画を作成し出演した。
また、１月・３月に参加者数名と「男性のセカンドライフを考える会」を実施し、体操教室のサークル化について意見交換し、計画的にサークル化を目指している。

・生活支援サービスの創出
桃陽地域において、買い物に困っている高齢者がいないか調査するため、１１月の食事サービス（配食）の際に、街頭アンケートを実施。その結果、買い物に困っている人は少ないが、電球交換等ちょっとした困りごとがある人が多いことがわかった。次年度さらに、ちょっとした困りごとについての詳細なアンケートを実施するため、区社協内で打合せを実施しアンケートを作成している。

・大江逢阪クラブ百歳体操
大江逢阪クラブ主体で月１回開催。後方支援として、参加者が自ら実施できるよう、プロジェクター操作の指導等を実施した。

・配食時の理学療法士のワンポイント相談会
外出自粛による高齢者のフレイルを予防するため、地域の配食時に理学療法士によるワンポイント相談会を実施した。

・「ゆうあい de ものづくり講座」の開催
外出自粛高齢者の介護予防・集いの場として、１～３月に各月２回、ものづくり講座を開催した。参加者の主体性をはぐくむため、参加者同士で教え合えるよう調整した。

３）活動の場の発掘・開発
施設や市営住宅の集会所等について、協議体や関係機関、地域住民より情報収集を行い、利用の可否を確認した。

４）サービス実施情報の周知等

・「天王寺区版　地域の情報誌」の配布
区役所や老人福祉センター等の関係機関、各地域の町会長会議や見守りボランティア連絡会の際に配布した。また、医師会・薬剤師会・歯科医師会の協力を得て、区内病院・薬局・歯科医院に情報誌を配布した。その結果、「病院等で情報誌を見て、地域の活動に参加したいと思い連絡した」という住民からの問い合わせが増えている。

・生活支援体制整備事業通信
「つながりお届け便」初版の作成
３月に事業の役割を記載した通信を作成した。今後、効果的な配布方法を検討し、随時配布していく。

（１４）生活困窮者自立相談支援事業

経済的困窮はもとより就労や家族問題など、生活に課題を抱える方への相談窓口を、（社福）大阪自彊館との共同体で平成２７年度より受託。

区役所４階に開設している「サポート天王寺」を相談窓口とし、対応が困難で多岐に渡る相談に丁寧に応じている。

１）男女別内訳 新規相談受付件数（633 件）

性別	男	333	女	300	不明	0

２）年齢内訳

年齢別内訳	０　～　１０代	8
	２０代	119
	３０代	129
	４０代	139
	５０代	131
	６０代	55
	７０　～　９０代	43
	不　明	9

３）相談経路

新規相談経路	本人（来所）	568
	本人（電話・メール）	7
	家族・知人（来所）	6
	家族・知人（電話・メール）	0
	郵送	39
	関係機関・関係者紹介	10
	その他	3

４）相談受付内容

相談内容	件数	比率(%)	相談内容	件数	比率(%)
病気や健康、障害のこと	6	0.9	家族との関係について	5	0.8
家賃やローンの支払いのこと	259	41	ひきこもり・不登校	3	0.5
税金や公共料金等の支払について	5	0.8	子育てのこと	1	0.2
収入・生活費のこと	137	21.6	ＤＶ・虐待	0	0.0
債務について	2	0.3	介護のこと	2	0.3
食べるものがない	3	0.5	住まいについて	184	29
仕事探し、就職について	9	1.4	地域との関係について	0	0.0
仕事上の不安やトラブル	1	0.2	その他	18	2.8

５）相談状況について

・令和２年度は、新型コロナウイルスの影響で、生活困窮状態となった世帯の生活相談を受け付ける窓口の一つとなった。

・633 件は対応し把握できている新規相談受付件数。昨年の約 3.7 倍に増加した。

・国の方針もあり、仕事の状態が離職や休業で減収となった世帯に対する家賃支援の住居確保給付金の対応がメインの支援となった。

（１５）老人福祉センター事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業含む）

＜利用状況＞

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和２年２月２９日から５月６日及び令和３年１月１８日から２月７日の間は臨時休館

利用者延べ人数　２０，９３８人（令和３年３月末）

内訳　男性７，２１１人、女性１３，７２７人

＜事業内容＞

１）生きがいづくり活動

① 教養講座

・スマートフォン教室（各カリキュラム）、脳トレ教室など

② サークル活動支援（25 サークル）

・歌体操、写真、書道（一般）、書道（研究会）、民謡、詩吟、俳句、カラオケ、英会話、ヨガ、新舞踊、俳画、編物、パソコン、卓球、ストレッチ、大正琴、フォークダンス、民踊、太極拳、ぼちぼち野郎会、グリーンコーラス（区老連）

③ 生きがい探究講座

・カラオケ大会

２）高齢者の自主的な地域福祉活動支援

・各種イベントの体験コーナーブースへの参加や舞台出演、施設への慰問活動、地域グランドゴルフクラブとして活動、登下校見守り活動

３）健康づくりと介護予防の促進

① 健康づくり講座

・体の歪みを正す運動療法、ヤクルト健康セミナー、すこやかシニア教室、ニコニコ健康体操、いきいき百歳体操、昭和男の体操教室、歯科セミナー、足育講座、生命の貯蓄体操

② 健康・体力づくり行事

・パークゴルフ大会

４）相談・情報提供機能の充実

・区広報誌天王寺・ゆうあいだより掲載、区掲示板センター利用促進ポスター掲出、センターだより毎月 1,400 部発行（地域会館・関係機関に配布）、ホームページ、フェイスブックなどＳＮＳも積極的に活用しての広報活動

５）老人クラブ活動支援

・「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を老人クラブ連合会と共催で取り組み、区老人クラブ大会、区民まつりなど事業への協力。センターとの取り組みを通じ、区老人クラブ活動を広報し、会員獲得と組織強化に協力

６）合同行事

・区老連・老セン合同作品展、天王寺区民ギャラリー作品展

７）その他

・いきいき広場を区内地域会館で毎月１回実施、企画立案運営委員会の開催

３　公益事業・介護保険事業

（１）居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、要介護の方のご希望や心身の状態に応じた適切なサービスの提案や利用調整、ケアプラン作成を行い、安心してご自宅で生活を送れるように支援を実施。

年間ケアプラン作成数：要介護　６０６件、　要支援　１２件

契約利用者数：要介護　６３件、　要支援　１件（令和３年３月末現在）

（２）地域包括支援センター事業

１）包括的支援４事業

1.総合相談支援

高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けるとともに、必要に応じて訪問し実態把握を行い、必要な支援やサービスにつなげる。

ブランチ（２ヶ所）とも連携して各地域の喫茶やカフェなどで出張相談を実施。

ア　包括の相談件数

	項　　目	件　　数
総合相談	訪問・出張による相談	１，９４５
	電話による相談	７，０６２
	来所による相談	６６３
	その他による相談　メール、郵送、FAX	６９８
	延べ相談件数 ※延べ件数のうち、認知症疑いのある方の人数	１０，３６８ ※３，７２８
	相談実人数	１，０６０

相談内容	家族・家庭問題	４，００２
	経済・生活問題	１，６７４
	介護サービスに関すること	１，５５２
	介護予防サービスに関すること	６６６
	介護予防事業に関すること	５２７
	福祉サービスに関すること	４６１
	保健・医療サービスに関すること	４１５
	虐待に関すること	４０６
	成年後見制度の活用に関すること	３３４
	生きがいづくり	３０３
	その他	２８
	延べ相談件数	１０，３６８

イ　地域交流の場での総合相談の実施

９地域の配食サービスや小宮ふれあい広場と喫茶ゆうゆうで出張相談

参加回数　２４件　　相談件数　　４１件

ウ　認知症サポーター養成講座（定例３、出前２）での包括の紹介　５回

2. 権利擁護業務

高齢者虐待の早期発見・防止のための地域支援づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供をおこなう。医療や介護関係者、地域住民に対し、啓発活動や勉強会などを実施。

ア　高齢者虐待受理件数１８件（うち包括の受理７件、うち虐待判断件数５件）
イ　成年後見受理件数　　１０件（うち新規９、継続１、専職派遣　４件）
ウ　成年後見制度研修会
・日程及び人数　　令和３年２月１８日（木）　３８名
・内容及び講師　１　高齢者虐待防止・成年後見制度のための権利擁護
あかり法律事務所　小山　操子　弁護士
２　高齢者虐待と成年後見申立ての現状報告
区役所保健福祉課　内木担当係長、泉本担当係長
エ　つながり通信にて高齢者虐待防止のための啓発チラシ配布居宅介護支援事業者連絡会にて高齢者虐待防止のための啓発チラシ配布

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関と連携して実施。また、介護支援専門員等を支援するために連絡会などを開催。

ア　会議開催状況・地域ケア会議の開催回数

地域ケア会議（個別ケース検討）	３１回
地域ケア会議（地域別ケア会議）	１４回
地域ケア会議（事例検証会議）	３回
地域ケア会議（見えてきた課題対応のための会議）	２回
包括・ブランチ連絡会議の開催	１２回
地域密着型サービス運営推進会議への参加	２９回
その他ネットワーク構築のための会議の開催・参加	１９２回
区地域包括支援センター運営協議会への参加	３回
サービス利用調整会議	２８回
地域等との関係づくり	３７回
地域ケア会議以外の個別ケース会議	４回

イ　包括的・継続的ケアマネジメント

介護支援専門員個別相談件数	１，７６５件
居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	１７回
介護支援専門員への研修会の開催支援	５回

ウ　各会議の概要(抜粋)

①“地域別ケア会議”の具体的な取り組み

区内各地域で会議を順次開催して、高齢者支援に携わる地域支援者と関係者で、高齢者の生活・支援状況の共有、高齢者支援の課題の確認や解決方法の検討、顔の見える関係づくりを行い、高齢者や住民が安心して生活できる地域づくりを支援する。

○桃陽地域「桃陽地域別ケア会議」定例４回、打合せ６回

定例会の開催概要

・日時及び参加人数

令和２年　７月１５日（水）　午後２時００分～３時００分　１４名
令和２年　８月２６日（水）　午後７時００分～８時００分　２１名
令和２年１０月２１日（水）　午後７時００分～８時００分　２４名
令和２年１２月１６日（水）　午後７時００分～８時００分　２２名

・参加者　地域（民生委員・主任児童委員・連合町会役員)、区保健福祉課、区社協（見守り相談室、地域支援、包括)、ブランチ

＊今年度の取り組み（見えてきた課題に対する取り組み）

“わがまち桃陽再発見”レター打合せ及び編集、視聴会　　計１１回

・目　的　“独居の方や家族への早期支援”や“地域の福祉力向上”のため、“わがまち再発見レターＤＶＤ”を地域役員とともに制作する。

・内　容：①背景とこれまでの経過
②桃陽地域、東筆・細工谷南・堂ケ芝・細工谷北町会の活動紹介
③民生委員の活動や支援紹介
④桃陽地域の皆様（視聴者）へのメッセージ

打合せ及び編集会、参加者　　計９回

令和２年１０月１６日　桃陽地域会長、包括
令和２年１０月３０日　桃陽地域会長、包括
令和２年１１月１８日　民生委員、包括
令和２年１１月１９日　細工谷南町会会長、包括
令和２年１２月２２日　桃陽地域会長、区社協（地域支援、包括）
令和３年　１月　７日　堂ケ芝町会理事、区社協（地域支援、包括）
令和３年　２月　９日　細工谷北町会会長、区社協（地域支援、包括）
令和３年　２月１６日　細工谷北町会会長、区社協（地域支援、包括）
令和３年　３月１６日　桃陽地域会長、民生委員長、区社協（地域支援、包括）

打合せ及び視聴会、参加者　　計２回

令和３年　３月　５日　区社協（地域支援、生活支援Co、包括
令和３年　３月１２日　桃陽地域会長、民生委員長、区社協（地域支援、包括）

○桃丘地域「桃丘地域別ケア会議」　臨時会１回、打合せ１回

定例会　※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

臨時会
・日時及び人数
令和２年１１月６日（金）午後１時００分～２時３０分　４名
・内　容　地域ケア会議についての説明及び、地域課題と取り組み
今後の会のあり方等意見交換
・参加者　民生委員長・連合町会長、包括

＊今年度の取り組み（見えてきた課題に対する取り組み）

大阪市立天王寺区図書館との連携“高齢者と認知症にやさしい本棚”の常設に向けた会議
・日時及び参加人数
令和２年１２月１８日（金）３名
令和２年１２月２８日（月）４名
令和３年　１月２２日（金）４名
参加者：図書館長、施策推進担当、地域支援推進員、生活支援 Co、包括

〇天王寺地域「天王寺地域ケアネット委員会」　定例１回　打合せ２回
・日時及び人数
令和２年１０月９日（金）午後１時００分～２時３０分　１４名
※第２回はコロナウイルス感染拡大防止のため中止
・内　容　「感染症について」現状報告　区保健福祉課 地域保健活動 保健師
講義後、民生委員や地域活動に関する意見交換
・参加者　地域（連合会長、高齢者食事サービス委員長、福祉相談員、地区ボランティアリーダー、主任児童委員、民生委員）、区保健福祉課、区社協、包括

〇生魂地域「生魂地域民生委員連絡会」定例１回　打合せ１回
・日時及び人数
令和２年１０月１日（木）午前１０時３０分～正午　　１２名
※第２回はコロナウイルス感染拡大防止のため中止
・内　容　「在宅における医療機関との上手な関わり方」について、在宅医療・介護連携コーディネーターをゲストに迎え、講義後、意見交換する。また、昨年度の課題対応取り組み（マンションへの周知活動）共有、地域ケア個別会議の報告
・参加者　地域（民生委員、主任児童委員）、在宅医療 Co、区保健福祉課、ブランチ・包括

〇五条地域「五条地域民生委員連絡会」臨時会２回
・日時及び人数
令和２年　７月　８日（水）
午後１時３０分～３時００分　６名
令和２年１１月１１日（水）
午後２時００分～３時３０分　４名
・内　容　今後の取り組みや地域活動に関する意見交換

地域ケア個別会議から見えてきた課題について
・参加者　地域（民生委員長・副委員長、連合会長、社協会長）、包括

○大江地域　地域別ケア会議　定例１回
・日時及び人数
令和２年１１月２６日（金）午後６時３０分～８時００分　１６名
・内　容　大江地域ケア個別会議と見えてきた課題の報告、意見交換
・参加者　民生委員、区保健福祉課、オレンジ、包括

○聖和地域　地域別ケア会議　　臨時会２回
・日時及び人数
令和２年９月１６日（水）午前１０時００分～１１時３０分　１４名
令和２年９月１６日（水）午後６時３０分～７時００分　　１８名
・内　容　聖和地域ケア個別会議報告及び見えてきた課題について
“昭和男のロマン喫茶”アンケート結果報告
・参加者　１回目　民生委員・主任児童委員、区社協、包括
２回目　連合町会役員、包括

○真田山地域　地域別ケア会議
定例会　定例１回　打合せ１回
・日時及び人数
令和２年１２月９日（水）
午後６時３０分～７時４５分　１８名
・内　容　地域ケア会議について（説明）
真田山地域ケア個別会議報告及び見えてきた課題の報告、意見交換
・参加者　地域（民生委員・主任児童委員）、区保健福祉課、包括

②事例検証会議の概要
支援課題のある個々のケースの検討の場「地域ケア個別会議」や、要支援１・２の利用者の自立支援のための検討の場「自立支援型ケアマネジメント検討会議」から挙がった課題をＳＶ等より助言を受け、課題のまとめや今後に向けた取り組みをすすめる。

<u>第１回</u>
・日　時　　令和２年７月３１日（金）
午後０時３０分～２時３０分
・内　容　　自立支援型ケアマネジメント
検討会議振り返り
・参加者　　７名（理学療法士会、区保健
福祉課、包括）

<u>第２回</u>
・日　時　　令和２年９月１日（火）
午後１時３０分～２時３０分
・内　容　　上半期地域ケア個別会議の概要説明、
自立支援型ケアマネジメント検討会議

から見えてきた課題と解決の為の検討、ＳＶの助言
・講　師　　関西福祉科学大学社会福祉学部社会福祉学科 橋本 有理子先生
・参加者　　１３名（講師、理学療法士会、民生委員、介護支援専門員、訪問介護、在宅医療Ｃｏ、区保健福祉課、生活支援Ｃｏ、オレンジ、包括・ブランチ）

第３回
・日　時　　令和３年１月２５日(月)午後１時３０分～３時３０分
・内　容　　今年度における地域ケア個別会議の開催状況の報告、「長年の家族関係が原因で家庭内に問題が発生している事例」について意見交換、SV の助言
・講　師　　関西福祉科学大学社会福祉学部社会福祉学科 橋本 有理子先生
・助言者　　天王寺区医師会　　原之村　博　先生
　　天王寺区歯科医師会　加藤　　尚　先生
　　天王寺区薬剤師会　　津田　宜志　先生
・参加者　　１５名（講師、医師会、歯科医師会、薬剤師会、在宅医療 Co、生活支援 Co、オレンジ、区保健福祉課、包括・ブランチ）

③自立支援型ケアマネジメント検討会議
・会議開催日及び参加者、会議開催後のモニタリング

事例	開　催　日	参 加 者 数 / 内 訳	開催後のモニタリング訪問日
2-1	令和2年7月28日	10名/介護支援専門員、訪問介護、通所リハ、その他*	令和2年8月20日
2-2	令和2年7月28日	9名/介護支援専門員、訪問介護、その他*	令和2年9月29日
2-3	令和2年7月28日	8名/介護支援専門員、通所リハ、その他*	令和2年9月10日
2-4	令和2年7月28日	9名/介護支援専門員、通所リハ、その他*	令和2月10月20日
2-5	令和2年8月27日	10名/介護支援専門員、福祉用具貸与、その他*	令和3年5月12日
2-6	令和2年8月27日	10名/介護支援専門員、通所介護、その他*	令和2年9月16日
2-7	令和2年9月23日	7名/介護支援専門員、その他*	令和2年9月28日
2-8	令和2年9月23日	7名/介護支援専門員、その他*	令和2年11月25日
2-9	令和2年9月23日	8名/介護支援専門員、福祉用具貸与、その他*	令和3年2月9日
2-10	令和2年10月27日	9名/介護支援専門員、訪問介護、通所介護、その他*	令和2年11月20日
2-11	令和2年10月27日	8名/介護支援専門員、福祉用具貸与、その他*	令和2年11月20日
2-12	令和2年10月27日	9名/介護支援専門員、通所リハ、福祉用具貸与、その他*	令和3年11月15日
2-13	令和2年11月26日	7名/介護支援専門員、その他*	令和3年3月8日
2-14	令和2年11月26日	8名/介護支援専門員、福祉用具貸与、その他*	令和3年3月2日
2-15	令和2年11月26日	6名/介護支援専門員、その他*	令和3年2月16日
2-16	令和2年12月16日	9名/介護支援専門員、訪問介護、福祉用具貸与、その他*	令和3年1月13日
2-17	令和2年12月16日	8名/介護支援専門員、通所リハ、その他*	調整中
2-18	令和2年12月16日	7名/介護支援専門員、福祉用具貸与、その他*	調整中

2-19	令和３年１月 26 日	７名/介護支援専門員、訪問介護、その他*	調整中
2-20	令和３年２月 25 日	７名/介護支援専門員、その他*	令和３年３月 26 日
2-21	令和３年１月 26 日	７名/介護支援専門員、福祉用具貸与、その他*	令和３年４月 19 日
2-22	令和３年２月 25 日	６名/介護支援専門員、その他*	令和３年４月９日
2-23	令和３年３月 17 日	７名/介護支援専門員、その他*	調整中
2-24	令和３年３月 17 日	７名/介護支援専門員、その他*	調整中

参加者内訳：その他*助言者(医師、理学療法士)、区保健福祉課、包括

・自立支援型ケアマネジメント検討会議一年後のモニタリング訪問　計２６回
・事例検証会議での検討結果を踏まえ、「タオルで体操」チラシを作成

④介護事業者のスキルアップや多職種連携のための取り組み

○新型コロナウイルス感染症(集合及び DVD 配付)
・日/参加者　令和２年７月１６日(木)　/　１０名
・内　　容　新型コロナウイルス感染症への対応
・講　　師　区保健福祉課　小野担当係長
※密集を回避するため、各会員へは講演内容を DVD に編集し配付

○合同防災研修会(Zoom)
・日/参加者　令和２年９月２３日(水)/１回目　２７名
/２回目　２３名
・内　　容　実態と居宅介護支援事業者等の対応、各事業所の防災への備え
・講　　師　KZ 総合防災企画　　黒田　和伸 先生

○多職種による認知症事例検討会(Zoom ハイブリッド形式)
＊ファシリテーターのための事前研修
・日/参加者　令和２年１１月１２日(木)　/　１１名
・内　　容　認知症事例の紹介、ファシリテーターの役割について
・ｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲｻﾞｰ　大阪市認知症介護指導者　松原弘樹
＊多職種研修
・日/参加者　令和２年１１月２０日(金)　/　２８名
・内　　容　認知症事例の紹介、ファシリテーターの役割について
・ｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲｻﾞｰ　大阪市認知症介護指導者　松原弘樹

○新型コロナウイルス感染対策のための研修会(Zoom)
・日/参加者　令和２年１２月２２日(火)/　２７名
・内　　容　新型コロナウイルス感染対策について
・講　　師　大阪赤十字病院感染管理認定看護師　西　好美

○多職種研修「コロナ禍でもつながる支援の輪」(Zoom)
・日/参加者　令和３年２月１７日(水)　/　４８名
・内　　容　医療や介護の専門職から取り組み報告及びコメント、質疑応答
・発 表 者　医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護、介護支援専門員、訪問介護、オレンジ

4.介護予防ケアマネジメント

基本チェックリストにより事業対象者と判断された方や要支援と認定された方のケアプランを作成。ご本人の心身や環境、希望等を勘案したうえで状況に応じてまた、要支援・要介護になるおそれのある方に介護予防事業を勧める等、介護予防と連携した事業を実施。

ア　介護予防ケアプラン作成件数

自包括作成件数	延べ	８５５　件
委託先作成件数	延べ	４，４７１　件

イ　第１号介護予防支援ケアプラン作成件数

自包括作成件数	延べ	８２７　件
委託先作成件数	延べ	３，００４　件

ウ　住宅改修支援事業　　３件

エ　その他

・新型コロナウイルス感染症対策として贈られたマスクを全利用者へ配付

・自立支援型ケアマネジメント検討会議の課題対応取り組みとして作成したタオルで体操チラシの配付

２）その他

ア　出前講座の開催　計１５回

地域包括支援センターの機能を紹介することで、早期相談、支援につながるよう、積極的に各地域での出前講座の案内を行った結果、地域や区役所等の関係機関にて、介護や認知症予防に関する講座や、成年後見に関する講座を開催。

＊地域での出前講座

①五条地域百歳体操

・内容及び人数　自宅で気軽にできる運動～タオルで体操～　９名

②五条地域百歳体操

・内容及び人数　自宅で気軽にできる運動～タオルで体操～　２１名

③真田山地域高齢者配食サービス

・内容及び人数　介護保険って？ざっくり教えて～　５８名

④イニシア筆ヶ崎理事会

・内容及び人数　地域包括支援センターやオレンジチームの紹介　２２名

⑤小宮住宅ふれあい広場

・内容及び人数　コロナに負けない予防とタオル体操　２５名

⑥真田山万年青会

・内容及び人数　脳の活性化～認知症の低下を防ぐために　２２名

⑦真田山地域高齢者配食サービス

・内容及び人数　脳トレーニング　　４２名

⑧真田山地域高齢者配食サービス

・内容及び人数　脳トレーニング　　３８名

⑨桃丘地域高齢者食事サービス

・内容及び人数　タオルで体操・安全安心カード、介護保険について　３１名

⑩真田山元気塾
・内容及び人数　お口の健康について　　１９名
⑪真田山元気塾
・内容及び人数　お口の健康について　　１５名
⑫桃陽健康ひろば
・内容及び人数　タオル体操と身近な困りごとアンケート　１６名
⑬小宮住宅ふれあい広場
・内容及び人数　あたまの体操とからだの体操　２０名
⑭生魂地域百歳体操
・内容及び人数　タオルで体操　１２名
⑮聖和地域百歳体操
・内容及び人数　タオルで体操　２３名

＊認知症サポーター養成講座での啓発活動
定例講座　計３回　　臨時講座　計２回(あっぷる天王寺、区民カレッジ)

イ　和みの会(介護者家族の集い)活動への協力・開催支援　６回
ウ　生活支援体制整備事業協議体会議への参加・支援　　１回
エ　啓発事業
○つながり通信による啓発活動
№２記事：みんなで防ごう！こども、障がい者、高齢者の虐待
№４記事：シリーズⅠ毎日のすきま時間に“ちょこっと体操”しましょう
№５記事：シリーズⅡ毎日のすきま時間に“ちょこっと体操”しましょう
№６記事：シリーズⅢ毎日のすきま時間に“ちょこっと体操”しましょう
№９記事：シリーズⅣ毎日のすきま時間に“ちょこっと体操”しましょう
※各回で地域包括支援センター相談窓口の紹介を行う

○広報ゆうあいによる啓発活動
№６５記事：「成年後見に関する講座兼相談会」と和みの会の案内
№６６記事：和みの会通信の掲載

３）家族介護支援事業
ア　家族介護者講座「やさしく解説！誰でもわかる！成年後見制度」
・日　時　令和２年１１月５日(木)午後１時３０分～３時００分
・内　容　成年後見講演会(寸劇形式)
家族介護者の集い「和みの会」の案内
個別相談会
・講　師　成年後見センター・リーガルサポート
大阪支部
・参加者　２５名　個別相談２名

（３）認知症強化型地域包括支援センター運営事業

１）区認知症施策推進会議の事務局

①天王寺区認知症支援関係者ネットワーク会議（組織代表者）の開催　年２回

第１回　令和２年　５月２２日　※書面会議　２０名

・内容　地域包括支援センターやゆうあいオレンジチームの支援実績他

第２回　令和２年　８月　７日　※書面会議　２０名

・内容　昨年度の認知症にかかわる取り組みの情報集約他

②認知症初期集中支援推進事業関係者会議（実務者）年４回

第１回　令和２年　５月２９日　※書面会議　１５名

・内容　昨年度の取り組み状況や課題、オレンジパートナーの案内他

第２回　令和２年　８月３１日　午後２時～３時３０分　参加人数１３名

・内容　前回書面会議報告及び事業周知活動、支援マップについて

第３回　令和２年１１月１６日　午後２時～３時３０分　参加人数１３名

・内容　認知症初期集中支援チームが支援するケースの支援課題

第４回　令和３年　２月２２日　午後２時～３時３０分　参加人数１４名

・内容　地域支援推進員の取り組みと課題、てんとうむしマルシェの紹介

③その他

多職種研修検討会

令和２年１１月１６日　午後２時～３時　４名

２）ブランチや認知症初期集中支援推進事業の取り組み等への後方支援

①地域ケア個別会議への参加・助言　　１５回

②認知症初期集中支援推進事業「チーム員会議」への参加・助言　　１１回

③認知症高齢者支援にかかる事例検討会の開催支援

・多職種による認知症事例検討会(Zoom ハイブリッド形式)

・多職種連携研修「コロナ禍でもつながる支援の輪」(Zoom)

④認知症カフェ連絡会への開催支援　　２回

３）区内の認知症高齢者支援にかかる情報収集・地域課題分析

①区内の認知症高齢者数や地域資源情報収集

・地域包括支援センター総合相談や認知症疑いの実件数のマッピング

・介護予防に資する集う場の実施状況やオレンジチーム支援件数のマッピング

②関係機関の認知症支援に関する取り組みと今後の課題のまとめ

４）認知症の課題に対する地域の取り組みの後方支援

①大阪市立天王寺図書館との連携に向けた企画検討会　　３回

②認知症マフを作ろう講座の企画・開催支援　　１０回

③その他地域への働きかけ等

・認知症の方への相談をきっかけとした出前講座の開催支援

５）オレンジサポーター地域活動促進事業

①事業の広報・周知活動（対象：関係機関・地域・企業・団体等）　１７回

②オレンジパートナー企業(団体)として「認知症の人にやさしい取り組み」の

協力の勧奨活動
・オレンジパートナー登録勧奨活動　　４３回
・オレンジパートナー企業・団体　　２２件

（４）認知症初期集中支援推進事業（ゆうあいオレンジチーム）

１）支援対象者

支援対象者総数50名	性　別	男	１８
		女	３２
	年　齢	６５歳未満	1
		６５～６９歳	1
		７０～７９歳	２０
		８０～８９歳	２５
		９０～９９歳	3
	世帯状況	独居	２５
		夫婦のみ	１１
		未婚の子と同居	4
		配偶者と子と同居	4
		子世帯と同居	4
		その他の親族と同居	1
		その他	1
	相談経路	家族（別居）	1
		家族（同居）	3
		区社協（包括）	２７
		区社協（見守り相談室）	1
		ブランチ	1
		民生委員	1
		医療機関（開業医）	2
		チーム	１３
		その他	1

２）支援状況

① 訪問　　訪問延べ回数・・・・・・・・・・・・・・・・５４０回
　　（内　本人に自宅で会えた回数 ）・・・・・・４９２回
② 自宅外支援（受診支援・近所への支援など）・・・・・　７２回
③ 進捗状況

	支援不要	支援中	介入時点で既に完了	支援拒否	完了	計（名）
認知症の診断	3	１４	１４	1	１８	５０
医療機関への受診	0	4	２９	1	１６	５０
介護保険サービスの導入	0	２１	0	5	２４	５０
他機関につながった	0	２２	0	1	２７	５０

３）会議開催、参加状況

チーム員会議・・・・・・・・・・１１回（緊急事態宣言期間内で１回中止）

関係者会議への参加・・・・・・・４回

地域ケア個別会議への参加・・・・２回

４）広報・普及啓発活動

認知症について正しい理解を広め、早期発見・早期診断・早期対応の相談機関であることを周知する

活動場所	啓発物
病院・診療所（１３２ヵ所） 歯科医院（６２ヵ所） 薬局（５０ヵ所）	チラシ・ポケットティッシュの設置依頼
各地域の配食サービスや百歳体操等	つながり通信やオレンジ通信の配布
公営住宅や民間マンション（４０ヵ所）	啓発及びチラシの掲示、ポスティング
区内交差点（２０ヵ所）	ポケットティッシュの配布

広報ゆうあい№.６５や天王寺区広報紙に掲載

区内の掲示板、大阪メトロ（区内３ヵ所）へのチラシ掲示

５）認知症地域支援推進員活動

① 若年性認知症ケース支援

ア　若年性認知症の鑑定診断を受けた人やその家族からの相談・１０６件

イ　認知症困難症例の主たる支援機関からの相談・・・・・・・・２９件

ウ　若年性認知症の方のネットワークの構築・推進

・「ゆっくりの部屋」（大阪市認知症の人の社会活動推進センター）へ若年性認知症ピア・サポーターとして活動するための支援調整

・認知症の人の集いの場（若年性認知症の方を含む）「てんとうむしマルシェ」への活動支援

コロナ禍での活動継続についての相談・助言・情報提供

② 地域の認知症対応力向上にかかる業務

ア　認知症の方を支援するネットワークの構築・推進

区内の認知症支援ネットワーク構築のための会議・・・・・・・９回

認知症疾患医療センター連携会議・・・・・・・・・・・・・・・１回

その他ネットワーク構築のための活動・・・・・・・・・・・・４４回

・大阪市天王寺図書館　認知症関連図書常設コーナーへの支援
認知症初期集中支援チームで発行している「オレンジ通信」の拡大版として発行
内容：当事者の家族や認知症ボランティア団体などから推薦された図書を紹介。

イ　認知症の方の家族に対する支援事業の実施
認知症カフェ等側面的支援、参加・・・・・・・・・・・・・・・７８回
※コロナ禍のため認知症カフェの開催は６団体中、２団体が１回のみ開催（通常各カフェ月１回ペースでの開催）。各認知症カフェ団体の状況把握や情報提供など、側面的支援が中心となる
認知症カフェ連絡会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２回
・第１回　令和２年８月２５日（火）　参加：６団体
内容：令和元年度状況報告・コロナ禍における現状と課題について意見交換
・第２回　令和３年３月１６日（火）　参加：３団体
内容：コロナ禍以降の活動アンケートをもとに今後について意見交換
家族介護者の集いに参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４回

③ 区内関係機関への認知症対応力向上のための支援
講演会に講師・情報提供者として参加・・・・・・・・・・・・・２回
情報提供・専門的助言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７回
区内多職種研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１回
「コロナ禍でもつながる支援の輪」共催

④ 認知症地域支援推進員の資質の向上のための研修等への参加・・・・９回

（５）ボランティア・市民活動センターの運営

１）ボランティア需給調整事業

①ボランティア登録者数（令和３年３月末現在）

・個人登録　　４６人　（令和２年度新規登録者　３人）

・グループ登録　　３５団体（令和２年度新規登録　３団体）

②ボランティア活動に関する相談・対応件数

相談・対応の内容		
	登録及び需給調整	２３件
	活動紹介・活動支援	２２件
	交流会・学習会・定例会の開催と参画	２０件
	グループ活動に関する相談・調整	３８件
	ボランティア応援資金・助成金の対応	１９件
	ボランティア養成講座等の開催と参画	４件
	ボランティア保険について	８件
	その他	４７件
合　計		１８１件
☆ボランティア・市民活動センターにおける活動実績 ５団体　計６３回　延べ３４２人		

２）開催事業

1	ゆうあいDE区民まつり	日　時 場　所 内　容	令和2年11月14日（土）正午～午後5時 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 区民まつりがオンライン開催となったため、外出自粛高齢者等を対象にオンライン観覧できる場を設けた。その他、簡単クラフトコーナーや無料喫茶コーナーの設置、防災カレーの提供などを行った。
2	ドリームデイ・アット・ザ・ズー準備会の実施	日　時 場　所 内　容	令和2年12月25日（金） 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 障がいのある人や家族を対象に、休園日の動物園をゆっくり楽しんでもらう事を目的に企画されたイベントに協力している。準備会を実施したが、昨年に続き、コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる。

３）登録団体の支援

1	強度行動障害の理解と支援 主催：つぼみの会	日　時　令和２年７月28日（火）午前10時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　小池 一弘 氏 （コイケエドゥ コンサルティングオフィス代表） 参加者　20人
2	就学前児童相談会 主催：つぼみの会	日　時　令和２年８月３日（月）午前10時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 参加者　13人
3	こどもの未来を考える 主催：つぼみの会	日　時　令和２年８月８日（土）午後２時～4時30分 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　上野 龍太 氏（発達障がい当事者）他 参加者　18人
4	伊丹昌一先生 個別相談会 主催：つぼみの会	日　時　令和２年10月５日（月）午前10時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者　６人（完全予約制）
5	強度行動障害の理解と支援 ～実際の事例から学ぼう～ 主催：つぼみの会	日　時　令和２年11月25日（水）午前10時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　小池 一弘 氏 （コイケエドゥ コンサルティングオフィス代表） 参加者　20人
6	伊丹昌一先生講演会 ～適応行動に導く知識と対処法～ 主催：つぼみの会	日　時　令和３年３月13日（土）午後２時～5時 場　所　天王寺区民センター1階ホール 講　師　伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者　98人

４）啓発事業

①ゆうあい ボランティア通信の発行

・３回発行　１回につき約２００部送付
　関係機関・団体、ボランティア登録者に発送及びボラセン内掲示など

・内容は各種ボランティアに関する情報や各種講座・イベントの紹介など

②ボランティア活動情報誌「ＣＯＭＶＯ」へのチラシ等挟み込み及び地下鉄駅への配架

・地下鉄「谷町九丁目」駅に設置しているチラシラックへの追加配架

③各種ボランティア活動情報の広報

・パンフレット・チラシ等の窓口設置、地域の各行事などでの配布

５）その他の事業

①ボランティアグループ支援活動

・各種ボランティアグループの活動支援

登録ボランティアグループの例会・行事・講演会などへの支援

②ボランティア保険の受付

・ボランティア活動保険（受付件数：48 件、加入総数：473 人）

・ボランティア活動行事保険（受付件数：100 件、加入総数：4,679 人）

・その他　各種保険（受付件数：2 件、加入総数：11 人）

③福祉ボランティア活動応援資金の受付

・４グループに交付した。（助成金額：105,000 円）

４　その他

エコキャップ回収運動の推進

※ポリオワクチンで世界の多くの子どもたちの命を救おう!!!

・ペットボトルのキャップを集めてポリオワクチンにかえる活動に協力。

・平成２７年度より、地域の方々から寄せられたキャップはワークセンター中授（東上町）の事業と連携を図っている。

天王寺区社会福祉協議会取り扱い分

エコキャップ　５９９，４３９個（累計）